

# 発掘成果をふりかえって 2003

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

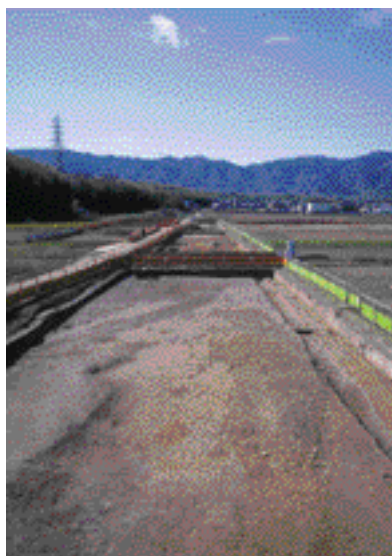
(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 松ヶ崎廃寺跡 左京区松ヶ崎堀町

平安時代の文献に現れる「松ヶ崎寺」の建物遺構を発見した。礎石や雨落溝跡から、南北6間以上・東西2間以上の建物跡とみられ、天文法華の乱で焼失した御堂と推測される(右の写真)。

東側の調査区では、平安時代の浄土式庭園の池跡も検出した。石を敷き詰めた洲浜や景石が見える(左の写真)。



2 長岡京右京二条四坊一・八・九町、  
上里遺跡 西京区大原野石見町

一条大路の南側溝や建物跡を発見した。下層では縄文時代晩期の甕棺墓群を検出した。



3 長岡京右京二条四坊一町  
西京区大原野石見町

長岡京の北西角で東西方向の道路「一条条間南小路」と両側溝の跡を発見した。溝からは祭祀用の土馬なども出土した。



4 長岡京右京二条四坊十三・十四町  
西京区大原野石見町

南北方向の「西三坊大路」と、大路に面した門跡を検出した。長岡京北西部の南北大路の位置を特定する貴重な発見であった。





5 上ノ段町遺跡 右京区嵯峨野開町

蜂ヶ岡中学校内で木棺墓を検出した。副葬品から平安時代前期末～中期のものとなり、嵯峨野・太秦地域では初例となる。



6 史跡慈照寺(銀閣寺)旧境内 左京区銀閣寺町

江戸時代の中門の下層で、平安～室町時代の2時期の石列を発見。「東山殿」とそれ以前の「浄土寺」の遺構であることがわかった。



7 平安京左京四条二坊十四町 中京区蛸薬師通油小路東入元本能寺南町

旧本能小学校で戦国時代末期の防衛施設である「惣構<sup>もろがまえ</sup>」を確認。四条坊門に設けられたもので、本能寺の南端をほぼ確定できた。



8 平安京左京四条二坊十四町 出土遺物 左に同じ

江戸時代初期の姫路藩主・本多家の京屋敷跡で、ごみ捨て穴から見つかった貝殻や魚・鳥獣類の骨は武家の食生活を知る資料となる。



9 平安京左京三条四坊十町 中京区御池通富小路西入東八幡町

旧柳池中学校内の調査で、江戸時代前期の真鍮<sup>しんちゆう</sup>工房跡が見つかり、溶解の炉跡22基や坩堝<sup>かぶつ</sup>などの道具類も多数出土した。ここで地金を製造し、周辺の工房で仏具の飾り金具などに細工されたと思われる。ふいごの羽口など炉の構造がよく分かる(右の断割り写真)。